

# 県産水素エネ活用

## ハイドロサプライ U2ライブに提供

世界的ロックバンドU2が、さいたま市のさいたまスーパーアリーナで4、5の両日に開いたコンサートで、本県産の水素エネルギーが電源の一部として活用された。アポログループのふくしまハイドロサプライ(福島市)などが水素を供給した。プロジェクトに協力した多摩大大学院への取材で9日、分かった。

ふくしまハイドロサプライは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しない「県産CO<sub>2</sub>フリー水素」を供給。県内で得られた太陽光発電エネルギーギーで水を電気分解し、

水素を製造した。同大学院ルール形成戦略研究所の国分俊史所長によると、県産水素はトヨタ自動車の燃料電池車(FCEV)「MIRAI(ミライ)」から、ホンダの可搬型外部給電器を介し電気となり、楽器のベースに送られたという。

実現に向け、ロックバンド「LUNA SEA」「X JAPAN」のギタリスト、SUGIZOさんが、自ら所有するミライと外部給電器を用意。同研究所客員研究員を務めるSUGIZOさんは「水素利活用に多様性をもたらすきっかけを世界に与え、世界規模で低炭素社会の実現が前倒しされていくことを期待します」とコメントした。

U2はアイルランド出身の4人組。13年ぶりの来日公演では巨大スクリーンを取り入れ、1987年発表の大ヒットアルバム「ヨシユア・ツリー」の収録曲を全て演奏した。



ミライと外部給電器を提供したSUGIZOさんと国分所長(多摩大大学院ルール形成戦略研究所提供)

火葬場新設を断念  
双葉・聖香苑一本化へ  
双葉郡8町村でつくる双葉地方広域市町村圏組合は9日、広野町で住民説明会を開き、同町折木地区に火葬場を新設する計画を断念

### 教職員不祥

#### 県教委、意識

わいせつ行為や酒酔い運転など相次ぐ不祥事を受け、県教委は9日、飲酒運転防止やわいせつ防止などを担当する公立学校の教職員を集めた「服務倫理推進員研修会」を福島市で開き、不祥事根絶へ一人一人の意識改革を強く求めた。本年度の懲戒処分は14件